授業概要（シラバス）

■科目基本情報

専門学校日本ホテルスクール

科目番号	MS620	分類	演習科目
授業科目名	卒業ゼミ(ホテル)	英文授業科目名	JHS Graduation Seminar Hotel
年度	2025年度	年次	夜間部　2年　　ホテル科
開講学期	後期	授業の方法	演習科目
単位数	1単位	年間授業時間数	28時間
科目区分	ゼミ科目	授業コマ数	20コマ
担当教員名	中山　万作　／　井上　浩　　実務経験あり	備考	
経歴	国内外外資系ホテル、海外リゾートホテルにて宿泊セクション勤務の経験を持つ(ゲストサービス、バトラー、マネジャー職を経験)。　／　海外ディスティネーションウェディング(商品造成)、国内リゾートホテルの勤務経験を持つ。		

■授業・科目情報

学習目標	一つの目標に向かってチームで協議する上でのコミュニケーション能力の向上。 プレゼンテーション能力の向上。 発表の為の構成力、ならびに説得させる根拠等の内容構成。 2年間のブイラダル授業を生かした目標・テーマ設定。
教科書	

授業計画

回数	内容
1・2	オリエンーション　課題・テーマ説明
3・4	グループワーク　ブランディング　ホテルの方向性を考える
5・6	ホテルと地域の関係
7・8	ホテル差別化グループワーク　ホテルの特性と商品
9・10	周辺エリアの魅力探る　(周辺エリアの魅力探る)
11・12	STPと差別化・アピール要素を探してストーリー作り
13・14	プレゼン準備　ニーズ(現存商品はどの様なものですか、代表プラン、商品分析)
15・16	プレゼン準備　ニーズ(現存商品はどの様なものですか、代表プラン、商品分析)
17・18	プレゼン準備　プロモーション施策を考える
19・20	プレゼンテーション　発表

授業の進め方	単なる教科書や講義中心の学習ではなく、グループを通し、様々な意見を出し合って、オリジナルの解決策を模索。要所要所で、アドバイスを行っていくが、基本的には各グループの進行具合はメンバーに委ねる。学生の積極性を引き出せるように条件はなるべく明確化にし、自由発想から経営や管理をすることをキーにサポートしていく。
試験の実施方法	出席状況に応じて評定を決定する。参加率、貢献度、プレゼン内容を考慮する。またグループ内の学生による評価も取り入れ
成績評価方法	ゼミ期間中、出欠確認を行い、出席状況およびゼミ参加の姿勢、成果物に応じて次の評価基準で評定を決定する。
関連科目	ホテル総論・ホテルマーケティング・ホテル会計・ホテル労務管理・宿泊業務論・フロントシステム他
参考書	
学生へのメッセージ	2年課程の最終ステージとして、広い視野を持ち調べる、まとめる、共同作業を通して自身の作業がグループ全体としてのパフォーマンスに影響することを実感してもらいたい。プレゼンを行う事で伝える事の成功体験を味わってほしい。

以上